

今日は、批判覚悟で書いてみる。

ある会社であった本当の話。

たまたま中小企業なんかでありますよね。お家騒動。

この会社の場合、社員を巻き込んでの大きなもの。

原因は、業績が悪いから、社員全員の給料を下げると言った事に対する不満。

これを聞いて思った。なんて愚かな経営者かって。

ただでさえ、社長と社員っていうのは、反目しあう関係なのに、社員全員の給料を下げると言って、誰が納得するもんですか。

じゃあ僕ならどうするか？

本当に業績が悪く、給料が払えない。このままでは倒産…。そんな時はあるだろう。

ですが、**まず社員の前に、己の身を削れよ！**

否、己の身を削っても、まだ足りないって場合もあるだろう。それならば…。

例えば、**社員全員の給料を一律10%引くより、それに応じて社員を一人切る。足らなければ追加。つまり、業務自体を縮小する。**

「痛みを分かち合う」「みんな平等」よく聞きます。だけどそんなの綺麗ごとだ。

みんな、どこかに「自分だけなんとか…」って思いの方が強いはずだ。

似たような問いに、ハーバード大学のマイケルサンデルの授業（本になってます）にこんなものがある。

船が遭難した。一人殺せばみんな助かる。だれも死ななければ全員死ぬっていう究極の問いにあなたならどうするか？っていうやつだ。

僕なら間違いなく前者を選ぶ。その一人に恨まれてもいい。僕ならそうする。

で続き。この会社はどうなったか。

結局、みんな辞めて、営業もできない状態がしばらく続いたと。

勿論、関係者、顧客にも、その間迷惑をかけたばなしだ。

君なら、僕の考えをどう思うだろうか？